

石巻専修大学

石巻専修大学 ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/>

石巻専修大学 広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。

佐藤さん 佐々木さんに 石巻警察署から感謝状 地区の少年健全育成に協力



感謝状を持つ佐々木さん、佐藤さん(左から)

けながら、非行やいじめの防止、防犯の啓発などに取り組んでいる。2人は石巻地区の少年健全育成に関するさまざまな活動を積極的に行ったことが評価された。

佐藤さんは「ポラリスでは、子どもたちが抱えている悩みや少年犯罪について学ぶことができた。活動を通じて多くの方と関わったことで、コミュニケーション能力や臨機応変に対応する行動力も身についた」と自身の成長を語った。

佐々木さんは「川開き祭りでの補導活動や子どもへの学習指導など貴重な経験をさせてもらった。この経験を生かし、来年度からは石巻地区の補導員として頑張りたい」と話した。



「大学生による少年健全育成ボランティア(ポラリス宮城)」として1年(宮城県宮城郡大崎町)から4年間にわたって活動してきた経営学部4名が、宮城県警察本部から感謝状が贈られた。

理科実験セミナー

理系に強い教員の養成目指す

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

その一環として1月18日と25日に、人間学部と理工学部が連携して「理科実験セミナー」を開催した。4月から小学校教諭になる人間学部の学生と、中学校教諭になる理工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

理科実験セミナーは、小中学校の授業で行われている理科実験を毎回取り上げ、適切な指導方法を実践的に学ぶことを目的としている。18日のテーマは、小学5年生理科の「振り子の運動」。小中学校に勤務経験がある人

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

理工・人間の2学部が連携

理系に強い教員の養成目指す

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

その一環として1月18日と25日に、人間学部と理工学部が連携して「理科実験セミナー」を開催した。4月から小学校教諭になる人間学部の学生と、中学校教諭になる理工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

理科実験セミナーは、小中学校の授業で行われている理科実験を毎回取り上げ、適切な指導方法を実践的に学ぶことを目的としている。18日のテーマは、小学5年生理科の「振り子の運動」。小中学校に勤務経験がある人

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

工学部の学生が参加し、本学教員から手ほどきを受ける。文系学生が苦手とする理科や数学を学ぶ機会を設けている。

理工・辻准教授が参加の研究グループ「ニホンザルの群れのつながり」を示す地図作成



音楽活動を中心とした文化系サークル・現代芸術研究会が1月27日、石巻市のライブハウス「ラ・ストラーダ」でライブを開催した。3組のバンドが出演し、熱のこもった演奏を披露した=写真。

が進む一方で、過剰な捕獲により絶滅リスクが高まっている地域もある。ニホンザルの行動圏データを全国規模で収集・解析し、各地の群れ同士のつながりの強さを示す2種類の地図を作成した。

この地図により、被害予防のために積極的な捕獲が可能な地域と、保護に配慮が必要な地域の見極めができる」と期待されている。

そこで日本哺乳類学会のニホンザル保護管理検討作業部会が中心となり、

辻准教授は作業部会の副部長としてデータのとりまとめを担当。研究内容は12月、米国の学術誌に掲載された。

本学で「野生動物保護論(3年次後期)」などを受ける辻准教授は、「講義中、野生動物の管理を行う際には某盤となる科学的データの収集が重要だと強調している。教員がこのようなプロジェクトに関わっていることを学生たちに知ってもらい、大学は『教育の場』であると同時に『研究の場』でもあることを実感してほしい」と話している。

25日は、理工学部の柳明教授が講師を務めた。「顕微鏡の使い方と微小生物の観察」がテーマで、学生たちは子どもたちへの指導場面を想定しながら、真剣な表情で実験を行っていた。

理科実験セミナーは来年度も実施予定。本学では引き続き、学部の垣根を超えて理科教育や算数(数学)教育に強い教員の養成に取り組んでいく。

の部分が分からないのか」を実感することができた」と話した。

25日は、理工学部の柳明教授が講師を務めた。「顕微鏡の使い方と微小生物の観察」がテーマで、学生たちは子どもたちへの指導場面を想定しながら、真剣な表情で実験を行っていた。

理科実験セミナーは来年度も実施予定。本学では引き続き、学部の垣根を超えて理科教育や算数(数学)教育に強い教員の養成に取り組んでいく。

の部分が分からないのか」を実感することができた」と話した。

25日は、理工学部の柳明教授が講師を務めた。「顕微鏡の使い方と微小生物の観察」がテーマで、学生たちは子どもたちへの指導場面を想定しながら、真剣な表情で実験を行っていた。

理科実験セミナーは来年度も実施予定。本学では引き続き、学部の垣根を超えて理科教育や算数(数学)教育に強い教員の養成に取り組んでいく。

の部分が分からないのか」を実感することができた」と話した。

25日は、理工学部の柳明教授が講師を務めた。「顕微鏡の使い方と微小生物の観察」がテーマで、学生たちは子どもたちへの指導場面を想定しながら、真剣な表情で実験を行っていた。

理科実験セミナーは来年度も実施予定。本学では引き続き、学部の垣根を超えて理科教育や算数(数学)教育に強い教員の養成に取り組んでいく。

の部分が分からないのか」を実感することができた」と話した。

25日は、理工学部の柳明教授が講師を務めた。「顕微鏡の使い方と微小生物の観察」がテーマで、学生たちは子どもたちへの指導場面を想定しながら、真剣な表情で実験を行っていた。

4年次生に聞く

今園 椋太さん 理工学部生物科学科

卒業を控えた4年次生に、本学での日々や就職活動、今後の目標などを聞いた。

研究室で、私は「クモの巣形と頭の向き」探餌行動の数理モデルによる解析」というテーマで研究を行いました。

教員という目標に向け、アルバイトも家庭教師を選択。単に勉強を教えるだけでなく、生徒や父母との適切なコミュニケーションの取り方なども学ぶことができました。

教員採用試験の面接では、3年間で20人以上の生徒を指導した経験と「教えることが好き」という気持ちを存分にアピール。その結果、子どもの頃からの夢をかなえることができました。

4月からは宮城県で教員としての第一歩を踏み出します。福島県安積高、内定先は宮城県教育委員会(中学校理科)。



教員採用試験合格の目標を達成

沼倉 凌さん 経営学部経営学科

大学4年間、常に目標を持ち主体的に取り組むことを意識して過ごしました。そのなかで分かったのは「努力は必ず将来につながる」ということです。

在学中、もっとも力を入れたのは学業です。早いうちから「予習・授業・復習」のサイクルを身につけたことで成績は安定し、2年次から3年連続で在学生特別奨学生に選ばれました。

家族も喜んでくれ、そのことがさらにモチベーションアップにつながりました。

就職活動は3年次前期から本格的に始めました。約10社に及ぶさまざまな業種でのインターンシップ経験は、企業分析や自己分析の際にも役立ちました。

卒業後は、大学で学んだ観光学や金融論などの知識を生かし、生まれ育った秋田県の地域経済の活性化に貢献したいと思っています。(秋田県湯沢高、内定先は北都銀行)



知識を地域活性化につなげたい

観光学に興味があった私は、大森信治郎ゼミに入りました。四国のお遍路を参考に、地域を徒歩で巡る旅が宮城県内でもできないかと探り、ゼミ生全員で実地調査を実施。松島から金華山まで歩く観光ルートを考えました。宮城県の魅力を再発見できたことも収穫です。

就職活動は3年次前期から本格的に始めました。約10社に及ぶさまざまな業種でのインターンシップ経験は、企業分析や自己分析の際にも役立ちました。

卒業後は、大学で学んだ観光学や金融論などの知識を生かし、生まれ育った秋田県の地域経済の活性化に貢献したいと思っています。(秋田県湯沢高、内定先は北都銀行)